

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-1-3		事業名	文化財施設維持保存事業
担当	観光文化局文化部文化財課 熊谷 Tel211-2261			
全体計画				
事業内容	本市所有文化財施設を良好な状態で保存・活用し後世に継承させていくため、計画的な整備・補修等を実施する。 1. 補修等工事の実施 2. 保全改修計画の策定(耐震診断を含む) 3. 損壊した八窓庵の復旧工事の実施		<年度別の事業内容>	
			平成19年度 1. 豊平館外壁塗装工事 2. 豊平館保全改修計画策定 3. 八窓庵復旧工事 平成20年度 1. 琴似屯田兵村兵屋跡保全改修計画策定 2. 八窓庵復旧工事 平成21年度 1. 琴似屯田兵村兵屋跡屋根補修工事 2. 時計台バリアフリー設備工事 3. 時計台保全改修計画策定 平成22年度 1. 清華亭屋根・外壁補修及び耐震補強工事 2. 新琴似屯田兵中隊本部保全改修計画策定	
事業内容・量・場	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	1 豊平館について経年劣化した外壁の修理塗装工事を実施した。 2 豊平館について保全改修計画を策定するとともに文化庁の基準による耐震診断を実施した。 3 損壊した八窓庵の復旧工事を実施した。 (平成20年9月竣工予定)		1 琴似屯田兵村兵屋跡の保全改修計画を策定した。 2 損壊した八窓庵の復旧工事が竣工した。 (平成20年8月竣工)	
事業内容・規模等	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	1. 史跡琴似屯田兵村兵屋跡の屋根補修等工事实施設設計等を実施した。 2. 時計台に車椅子リフトを設置する等のバリアフリー化設備工事を実施した。 3. 豊平館耐震補強等検討委員会開催を開催し、有識者による耐震化工事の方法、エレベーター設置の可否と方向を決定した。 他、委員から指摘があった雨漏り対策応急補修等を行った。		1. 史跡琴似屯田兵村兵屋跡の屋根補修、屋外消火栓設備更新等の工事を実施する。 2. 豊平館については、低迷している施設活用のあり方検討を行い、次期耐震改修等の修理整備方針を保存活用計画としてまとめる。	

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-1-3			事業名	文化財施設維持保存事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
補修工事等実施施設数	1施設	2施設	3施設	3施設	4施設	5施設	
保全改修計画の策定	3施設	4施設	5施設	5施設	5施設	7施設	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 豊平館耐震補強等検討委員会に歴史的建造物に関わるNPO代表に委員となっていただいた。 八窓庵復旧イベントにおいて、今後のイベント要望に関するアンケートを行った。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力]サポートホット基金の企業寄付により札幌村郷土記念館の修繕が行われた。 [人材協力]八窓庵野点事業を中島公園指定管理者と茶道流派との協働で実施した。 [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 八窓庵復旧工事にあたっては、工事現場見学会、工事経過パネル展、竣工時オープニング野点会などで情報発信に努めた。</p>							
評価(成果)			課題				
本市所有文化財施設を良好な状態で保存・活用し後世に継承させていくための整備・補修等事業を計画どおり実施することが出来た。			豊平館のリニューアルを含めて、今後の文化財施設の整備・補修については、文化財を資源とした文化遺産観光をどうシティブロモードしていくかをセットで検討していく必要がある。				
今後の事業の予定・方向							
豊平館の保存活用計画を策定し、耐震補強等の修理整備工事について文化庁と調整していく。 登録文化財価値を有するに至った所管建造物や文化財収蔵施設の修理計画を策定していく。							

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-1-3		事業名	文化財施設維持保存事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	79,807	19,794	30,224	56,175	186,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	7,809	0	7,809	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の一般財源	53,007	15,919	0	0	68,926	
予算	事業費	79,807	46,294	29,400	31,000	158,426	
	財源内訳						
	国・道支出金	6,715	0	1,750	10,302	18,767	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の一般財源	53,007	43,994	0	0	68,926	
実績	事業費	63,726	45,884	28,770	—	138,380	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	2,010		2,010	
	市の債	0	0	0		0	
	その他の一般財源	36,770	43,994	0		80,764	
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)				91.1%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
《全体》							
[19年度]							
計画通り実施された。							
* 豊平館外壁修理塗装工事は、国庫補助対象に洩れ、修理を応急措置に止め、塗装工事を主体として一般財源の範囲内で実施している。							
* 予算と決算額の乖離は、八窓庵継続費の工事工程変更による。							
* 19年度予算には、八窓庵の18年度からの繰越分を含む。							
[20年度]							
計画通り実施。							
* 予算と決算額の乖離は、八窓庵継続費の工事工程変更による。							
[21年度]							
* 琴似屯田兵村兵村跡は単年度設計工事が困難と判断されたため21年度実施設計、22年度施工に変更した。							
* 19年度の豊平館耐震診断の結果、詳細調査と専門家委員会開催の必要性が発生したためこれを優先して追加し、時計台保全改修計画策定は先送りした。							
[22年度]							
* 1年遅れた史跡琴似屯田村兵屋跡工事の実施を優先し、清華亭工事実施を先送りした。							
* 豊平館の保存活用計画策定を優先し、新琴似屯田兵中隊本部の保全改修計画策定を先送りした。							
※予算の計には、19年度から20年度への繰越分(28,075千円)を含まない。							